

th

Anniversary

磯子区民文化センター 杉田劇場

杉田劇場開館10周年、誠におめでとうございます。杉田劇場は、18区の区民文化センターの中で、最も地域とともに歩み、自ら行動してきた区民文化センターだと思っています。この10年間、音楽、演劇、美術など、区民が文化に触れ、参加する機会をつくり、また、文化活動団体の支援にも力を入れてきました。まさに、杉田劇場が汗をかき、動いた結果です。磯子区が誇る我らの杉田劇場、本当に、ありがとうございました。

でも、私たちが目指す「音楽やダンスなど文化あふれるまち磯子」は、もう少し先にあつて、まだまだ、私たちが汗をかかなければいけないようです、私たちが大好きな磯子のために。これからの杉田劇場の更なる活躍を期待しています。

磯子区長 坂本 連



地元愛あふれる磯子のみなさまに深謝!!

2005年2月5日、区民に愛される杉田劇場を目指してオープンし、「地域と一緒にできること・・・私たち杉田劇場の願いを学校や商店街や企業や文化団体のみなさまに受け止めてもらい、数え切れないほどのお知恵と汗をいただいて、この10年間、夢中でオリジナル企画や地域連携事業を積極的に行ってきました。今では、「磯子の人たちは情に厚いね」「磯子のお客様は温かいね」と杉田劇場を演者として訪れる区外や海外の方々からお言葉をいただくと、嬉しくてたまりません。

地元愛があふれる磯子、お膝元の杉田劇場で働くことができ、スタッフ一同、幸せです。杉田劇場を応援し、支えてくださったすべてのみなさまに、心より御礼申し上げます。そして、これからも、文化で豊かな未来が拓けるよう、なお一層、精進してまいります。

横浜市磯子区民文化センター 杉田劇場 館長 中村 牧



お祝いメッセージ

この度は開館10周年心からお祝いを申し上げます。磯子区の文化施設として様々な取組には感銘を受けると共に館長、スタッフ皆様のご苦労があったことと拝察いたします。当らびすた新杉田も初心を忘れずに貴館と共に地域、らびすた新杉田の発展に努めて行きたいと深く思っておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。開館10周年誠にありがとうございます。

らびすた新杉田管理会社 新杉田都市開発株式会社 管理部長 米澤寛

杉田劇場10周年おめでとうございます。私は、杉田で生まれ育った生粋の杉田っ子です。杉劇のスタッフのみなさんは、新しいものをすばやく取り入れ古き良き日本の行事も大切にしてくれています。私は学生の頃から杉田寄席を横浜銀行の旧杉田支店の2階でやっていた。区民の公募で名前が杉田劇場と決まった時は、うれしかった。今は杉田劇場で「いそごぶるさと寄席」と名前を変えて頑張っています。杉田劇場、らびすた、プララは杉田のシンボルです。地元商店街、地域のみなさまと共に協力し合い、もっともっと杉田の町を盛り上げていって下さい。

プララ杉田専門店会 会長 佐藤祐司

杉田劇場開館10周年おめでとうございます。平成17年2月に杉田劇場がオープンし、4月に新杉田のびのび保育園が開園致しました。オープンしてまもなく園児のために「ロビーパフォーマンス」を企画して下さい、今では園児のみならず地域のお子さんやママもたくさん集まりすっかり定着しています。今後も劇場が子ども達にとって楽しい文化との出会いになるよう、お願い致します。

新杉田のびのび保育園 園長 山中あけみ

杉劇でわくわく顔に

開館10周年、誠にありがとうございます。区民の皆様の文化活動の拠点として大きな役割を果たしている杉田劇場は、本校の子ども達にとっても、音楽・演劇・芸術を身近なものにしてくれる存在として無くてはならないものになっています。このような恵まれた環境で、子ども達がわくわく顔になる教育活動ができる幸せを私は実感すると共に心から感謝しております。

横浜市立杉田小学校 校長 岩崎良之

10周年を迎えることができましたのは、皆さま方のご理解とご協力の賜物と心より感謝しております。NPO 法人チーム杉劇は第3期指定管理者の共同事業体として加わることになり、区民主体の運営を目指すためのスタートラインに立ちました。第3期の目標である「区民主体の自主運営」を目指していくには、関係者のベクトルを合わせる必要があります。一つ一つは小さな力でも、ベクトルが揃えば強い力になります。そのためには、皆さま方との共通理解が欠かせません。今まで以上に、文化活動が盛り上がり「わがまち・磯子」が一層活性化していくことを願っております。

NPO 法人チーム杉劇 理事長 中里順子

10周年誠にありがとうございます。磯子の新たな文化発祥の拠点として地域に根差し、さまざまな方々と世代間を超えた交流の場を設け、人と人を繋げていただいたことに感謝いたします。次の10年は「古き良き磯子」と「新時代、磯子」がコラボできる環境作りを力を注いでいただき、磯子に穏やかな風と言う音を奏でただけると確信しております。

イメージ ISOGO 代表 宮内重明

杉田劇場開館10周年おめでとうございます。私たち劇団「横綱チユチュ」が、地元の劇団としてこれまで活動を続けてこられたのは、杉田劇場という会場の存在があったからこそです。これからも、文化発信の場であり続けてくださることを願ってやみません。

劇団「横綱チユチュ」代表 安次嶺里給子様

カメラマンとして数々の場面を撮影させていただいてきました。最初はイベントの撮影だけでしたが、ある日杉劇リコーダーズに一目惚れをしてしまいました。「仕事」ではなく「ライフワーク」として杉劇リコーダーズの撮影をお願いさせていただいてから、はや数年。小学生だった子どもたちも高校生になり、僕が作った「劇団系」のメンバーにもなってもらうなど、カメラマンとしてだけでなく、いろいろな関わりを作ることができました。これからも地域との繋がりを大切に、杉田劇場を文化芸術の発信拠点としていってください！開館10周年おめでとうございます！

squash yokohama japan 代表 木村敬一

親愛なる杉田劇場様へ

皆様の祝典を私たち一同も心よりお祝い申し上げます。日本でも傑出した皆様のホールで、そして特別に心温かいお客様を前に、すでに4回公演をさせて頂き光栄に思います。お誕生日おめでとうございます。そして近い将来またお会いできることを望んでおります。

トーマス・ティム/ロマーノ・トマシーニ
ヴォルフガング・ターリツ/ダヴィット・リニカー/ナビル・シェハタ
ベルリン・フィルハーモニー弦楽五重奏団

「杉劇リコーダーズ」、あの先には何があるのだろうと皆で一緒に登ってきた音楽の道。限りない道だが、峠に立つと今まで見えなかったものが見え、触れられなかったものに触れ、聞こえなかった音が聴こえてきた。そのたびに皆で喜びを分かち合った。これからも一緒にゆっくりと歩き続けよう。生きる喜びを伝え合える場が杉田劇場だから。

杉劇リコーダーズ音楽監督、横浜国立大学、東京藝術大学講師 吉澤実

杉劇に感謝して

専業主婦だった私が助っ人隊に入って5年目になります。中村館長さんと出会い参加しました。若い職員の方やお客様と接する事に戸惑いながらも、新鮮な思いの日々に感謝です。コンサートのお手伝いや、七夕・クリスマスの飾り付けの手伝い等、65才の私もまだまだ頑張ります。杉田劇場が中村館長さん中心に、地域の皆様に愛され続きます事を願っております。

杉劇 @ 助っ人隊：川地真栄

たった12人でスタートした杉劇リコーダーズも杉田劇場と共に大きくなりました。リコーダーズでは個性豊かで幅広い世代の方々に出会えました。活動を応援して下さいの方や演奏を聴いて感動して下さいの方がいることを実感できた多くの演奏会。そのたびに音楽ってすごいなと感じていました。リコーダーズを卒業し、中学校の部活は迷わず吹奏楽を選びました。しかし、うまく行かずに壁を感じる日々。そんな時、音楽の楽しさを思い出してくれたのは杉田劇場と、いつも温かく迎えてくれる杉田劇場の方々でした。10周年おめでとうございます。

杉劇リコーダーズ 元子どもメンバー：菅野亜維

杉田の「ランドマーク・タワー」のようなビル。十年目を迎えて、すっかり地元で定着。しかし、商店街の一角としての認識はあっても、「美空ひばりデビューの地「杉田劇場」の知名度は残念ながら低い。杉劇リコーダーズの活動と共に、地域の人々が気楽に利用出来るような文化の拠点になるよう、これからも一層協力をさせていただきます。

杉劇リコーダーズ 大人メンバー：藪清久様

— 「横浜市磯子区民文化センター 杉田劇場」はこう考えてきました —

■ 参加してもらおう劇場から一緒におこなう劇場へ

杉田劇場は開館当初より「区民との協働」をコンセプトに、様々な呼びかけやイベントの募集・実現をおこなってきました。その中で取り組んできた、文化の力で磯子の全ての世代の方がともに活躍できる場作りや、そのための仕組み作りに取り組んできました。その活動は徐々に実を結び、積極的な企画の提案などよりアクティブな動きが生まれてきました。杉田劇場では、引き続き仕掛け作りに取り組む一方で、そういった意欲をお持ちの方々のために何ができるか、どういったところで一緒になることができるのか、ということを一所懸命に考えてきました。

■ 地域のハブとして

地域と一緒に歩むため、杉田劇場が更に重視したのは劇場との関わりをきっかけとして新たなつながりや体験を生み出すことができる場所としての機能でした。「ここにすれば何か見つかる、何かに出会える」…。そんな場所となるため、杉田劇場は地域の皆様のところへ積極的に「お邪魔したり、時には劇場へ来ていただいたり、様々な方法で地域の方々のニーズをお伺いしてきました。

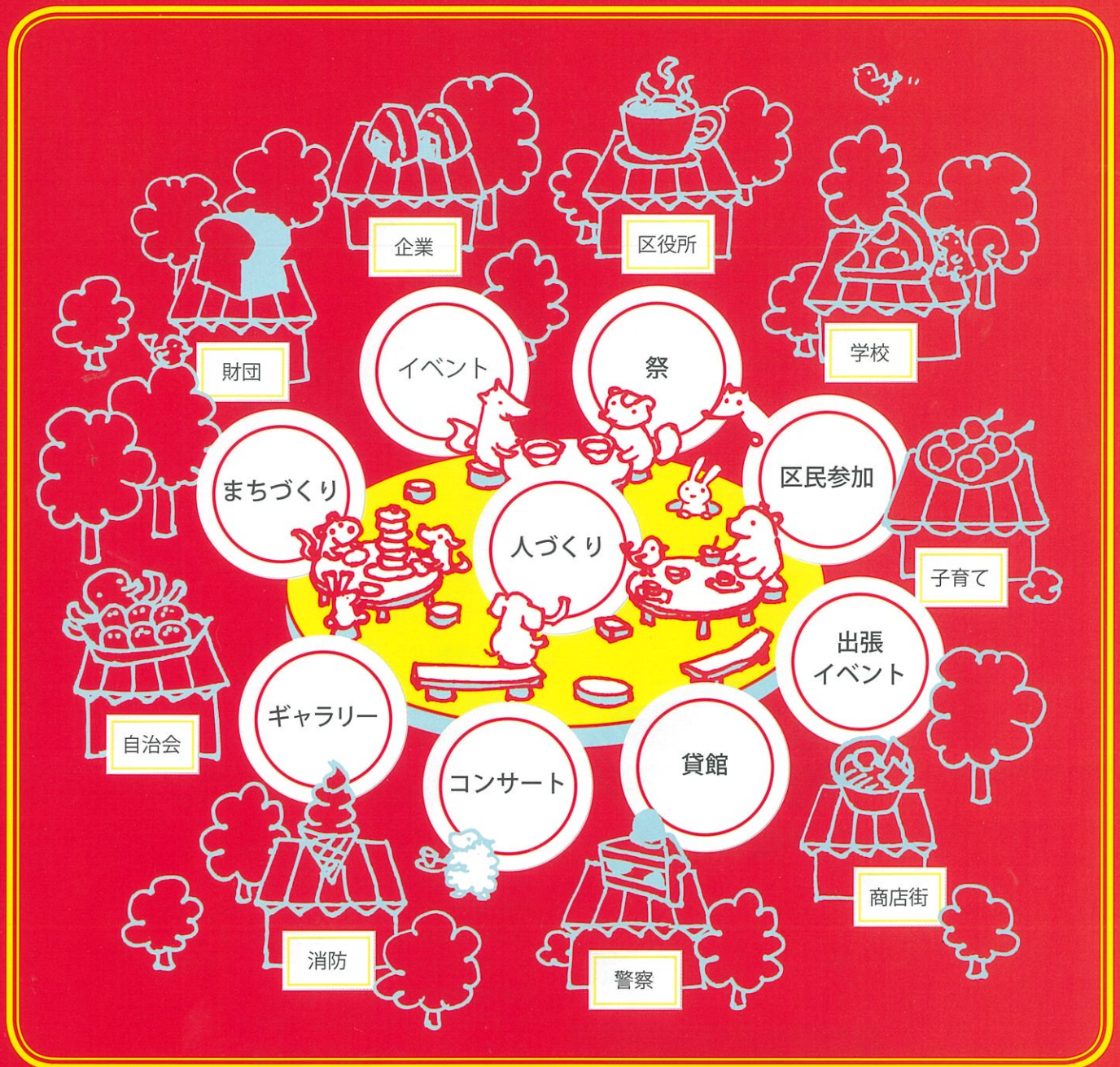
■ ～そして、これから～

開館10周年を迎える杉田劇場は、ボランティアの方々や文化団体、NPO法人など、地域の皆様なくしての運営は考えられない劇場となっています。これも、10年にわたる運営でつながってきた地域ネットワークから生まれたかけがえのないつながりです。本当にありがとうございます。

横浜市磯子区民文化センター 杉田劇場はこれからも
文化の力で区民力と地域力を最大限に引き出して
まちづくりと人づくりに貢献する区民文化センターを目指します

これからもどうぞよろしく願いいたします。

つなげる場。としての区民文化施設



横浜市磯子区民文化センター

杉田劇場

〒235-0033 神奈川県横浜市磯子区杉田1-1-1 らびすた新杉田4階

TEL : 045-771-1212 FAX : 045-770-5656

<http://sugigeki.jp/> E-Mail: sugigeki@yaf.or.jp

開館時間 9時～22時 (施設点検による休館日あり)

◎ JR 根岸線・シーサイドライン「新杉田駅」下車、徒歩3分

◎ 京浜急行「杉田駅」下車、徒歩5分

ホール (310席) / リハーサル室コスモス (100㎡) / ギャラリー (110㎡)

練習室 A / 練習室 B / 練習室 C / 会議室 A / 会議室 B / 会議室 C



■「区民による、区民のための」杉田劇場へ

杉田劇場は「区民との協働」をコンセプトに、10年間運営を行ってきました。第1期にあたる1-5年目は「区民企画委員」による活動により、運営へ参加していただく基礎作りをおこないました。そして「杉田劇場と歩む区民の会」を立ち上げ施設の運営や事業に、より積極的に区民の力と声を取り入れ、協働の仕組みを発展させました。第2期は特定非営利活動法人チーム杉劇を立ち上げ、区民が主体となった施設運営への基礎を固めました。また、より多くの方に運営に参画していただくためのボランティア組織「杉劇@助っ人隊」も行っています。



2010.4.6(火) 東京新聞

2010.4.9(金) 神奈川新聞



特定非営利活動法人チーム杉劇



特定非営利活動法人

チーム杉劇



「区民との協働」から「区民が主体」の杉田劇場へ向かっていくため結成された組織です。区民主体の運営の中核を担うため、様々な文化事業を実施しています。

・ひよこ♪コンサート出前公演

依頼を受け「0才から入場可能なファミリーコンサート ひよこ♪コンサート」を杉田劇場の協力の元、秦野市文化会館や港北公会堂で実施しています。

・地域へのアウトリーチ事業

商店街や施設のイベント盛り上げのため演奏家を多数派遣しています。

・芸術文化発信事業

有名ではなくとも素晴らしい魅力を持つアーティストや、これから未来へ羽ばたいていく若き才能を紹介するイベントを主催しています。2015年度から始まる横浜市磯子区民文化センター杉田劇場第三期指定管理者の指定管理者としても選ばれるなど、区民が主体となった運営を実現していく団体です。

むしろ、区民が杉田劇場

1~5 周年
2005-2009



・区民と一緒に

6~10 周年
2010-2015



・区民と“もっと”一緒に

10 周年~
2015-

そして、これから

・区民が主役で!



杉劇リコーダーず

SUGIGEKI RECORDER'S



■ 杉劇リコーダーずとは？

2006年7月に区民企画アイデア提案事業の一環で誕生した、「こどもとゴールドエイジ(団塊世代)」の組み合わせによる異世代リコーダーアンサンブルです。NHK「ふえはうたう」などでお馴染みのリコーダー奏者吉澤実先生のユーモアいっぱいの楽しい指導のもと、日々賑やかに練習し、豊かなハーモニーを奏でています。

■ 杉劇リコーダーズの活躍

区内のまつりや商店街のイベント、地域ケアプラザや保育園などへの出張演奏、年に1回の定期演奏会、全国各地のリコーダーフェスティバルの参加、宮城県気仙沼市のこどもたちと気仙沼での交流演奏会、吉澤先生の第二のふるさと「ザルツブルク」でのジョイント演奏会出演。お呼びがかかれば、楽器を片手にどこへでも演奏に行く仲間たちに成長しました。まさにミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」のトラップのファミリー杉田版です。この原動力は、こどもからゴールドエイジまでのチームワークの良さと【音楽が生きる力であること(吉澤先生談)】。本番の回数が多いことで、最初は、悲鳴をあげていた団員が、いつのまにか、今度の出番はいつ?と聞くようになり、気がついたら、たくさん練習をし、レパートリーが増え、いざ、次へという流れで、忙しく活躍中。この活躍が、全国にもつながればと願い、教科書にも登場できるようになりました。杉田劇場の親善大使は、磯子区の親善大使として、リコーダーの親善大使として、磯子区を基点に、日本全国、縦横無尽に活動をおこなっています。



■ リコーダーがつなぐ絆

結成して8年。杉劇リコーダーズは、様々な地域、場所へ出かけ、様々なアーティストとも共演をおこなってきました。

演奏した場所・イベント(順不同)

新杉田地域ケアプラザ、浜小コミュニティハウス、新杉田のびのび保育園、らびすた新杉田、プララ杉田イベント、杉田商店街、杉田小学校、岩間市民プラザ、新潟県小出郷文化会館、魚沼市養護老人ホーム南山荘、いそご地域活動ホームいぶき、ザルツブルク、静岡音楽館 AOI、地域作業所洋光台ワークホーム、横浜赤レンガ倉庫1号館、開国博Y150横浜18区紹介デー、アクロスプラザ東神奈川、静岡県清水テルサ、岡村泉谷町内会、旭区民文化センター、磯子区青少年健全育成大会、いそご地域活動支援フォーラム、屏風浦地域ケアプラザ、杉田八幡宮、横浜みなとみらいホール、パシフィコ横浜円形広場、磯子区消防出初め式、いそごコースフェスタ、ハマロード・サポーター道の日記念ミニコンサート、いそごこどもエコフェスタ、山梨県都留音楽祭、ホッチポッチミュージックフェスティバル、宮城県気仙沼市復興商店街南町紫市場、チャリンジャーフェスティバル、いそごまつり、久良岐能舞台、広場サンタ・プロジェクト、磯子区振り込め詐欺撲滅大会、イマージュ ISOGO

共演したアーティスト

李波(リポー):馬頭琴、栗コーダーカルテット、永田平八:リュート、朝岡聡:フリーアナウンサー、アンサンブルたのシツク、池田正彦:ジャンベ、川端りさ:リコーダー、武澤秀平:チェロ&ヴィオラ・ダ・ガンバ、平野智美:チェンバロ など(順不同敬称略)

テレビ出演

テレビ朝日「題名のない音楽会」、J-COM「サタデーファイトファイバー」

海外演奏

ザルツブルク(オーストリア)他のリコーダーアンサンブルとともにジョイントで参加

受賞歴

全国アマチュア室内楽フェスティバル2014in みなとみらい(FM ヨコハマ賞受賞)

トピックス

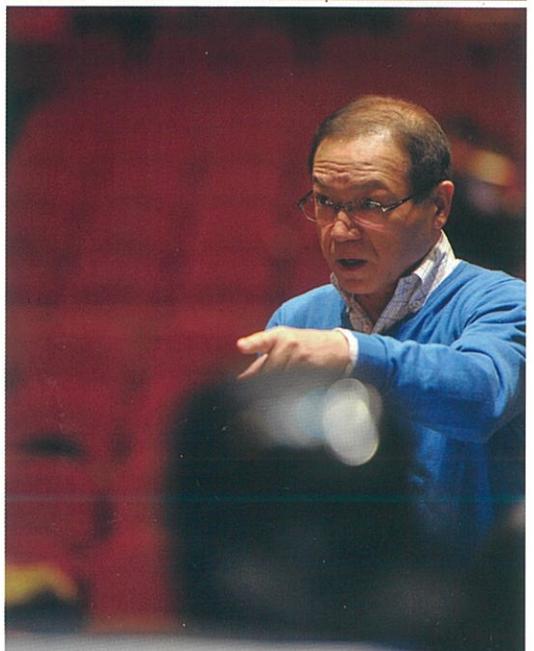
文部科学省検定済教科書 小学校音楽科用 平成27年度から全国で使用される教科書「小学生の音楽3(平成27年度版教育芸術社)」の巻頭見開きページにリコーダーずこどもメンバーによるリコーダー紹介ページ「ようこそ リコーダーの世界へ」が掲載

■ 東日本大震災被災地への復興支援活動

東日本大震災支援の活動として、杉劇リコーダーズ第1回定期演奏会(2011年5月1日)での募金活動や、磯子区の消防出初め式で被災地の子どもが書いた作文を朗読するなど、リコーダー演奏を通じた復興支援活動をおこなってきました。そして、2013年8月10,11日に宮城県気仙沼市へ赴き、現地の子どもたちと交流をおこなう演奏旅行を行いました。気仙沼の子どもたちと一緒ににおにぎりを食べ、リコーダーを吹き、気仙沼復興商店街南町紫市場のステージと子ども集会所「みなみまち cadocco」で演奏をおこないました。

■ 新たな活動

現在の杉劇リコーダーズのメンバーは5歳から80代まで総勢38名(2015年1月時点)。発足当時が8名だったことを考えると大所帯となりました。発足当時のこどもたちは高校生になり、大学生になり、杉劇リコーダーズを支え、杉田劇場を支えてくれるメンバーに育ち、ゴールドエイジたちの中からは、作曲や編曲をしたり、地域や被災地に出かけて演奏したり、独自の活動をおこなう新しいアンサンブルチームが生まれています。杉劇リコーダーズを母体にした新たな区民チームの活躍は今後ますます盛んになっていくことでしょう!



周年記念事業

SUGIGEKI ☆ KAGEKIDAN

杉田劇場では、毎年2,3月に区民参加による演劇系の事業を実施しています。年ごとに演劇やミュージカルなどテーマを設定し、参加者を磯子区中心に市内から広く公募。毎年8月頃から稽古を開始し、翌年2,3月頃の本番公演を目指します。ここでは5,6,8,9,10周年で実施した区民参加による周年記念事業をご紹介します。

■ 開館5周年記念事業

区民参加音楽劇「イソゴのハテナ ～海と梅と、これから物語り～」

2010年2月27,28日(土、日)

横浜市磯子区民文化センター 杉田劇場 ホール

杉田劇場ホールのオーケストラピットを初めて使用した公演。演劇チーム「杉劇クワイア」と弦楽器チーム「杉劇アンサンブル」の2チームを結成し、過去と未来を杉田の梅がつかぐオリジナルストーリーを上演しました。



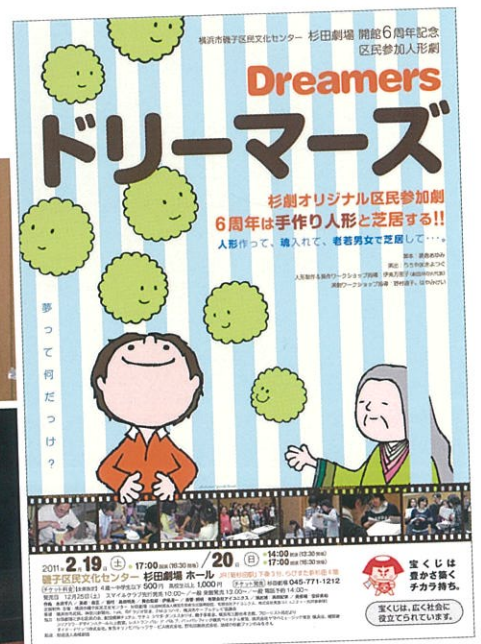
■ 開館6周年記念事業

区民参加人形劇「ドリーマーズ」

2011年2月19,20日(土、日)

横浜市磯子区民文化センター 杉田劇場 ホール

脚本に劇団「横綱チュチュ」の菱倉あゆみ氏を迎え、「夢」をテーマに地域密着型のオリジナルストーリーを上演しました。デザインから始め、0から制作した人形による人形劇と、人間による演劇が絡みあう感動の劇となりました。



■ 開館8周年記念事業

区民参加ミュージカル「杉劇☆歌劇団 結成お披露目会」

2013年2月9日(土) 横浜市磯子区民文化センター 杉田劇場 ホール

3年計画で始まった「地域密着型エンターテインメント集団」の結成お披露目会。子どもから大人まで31人の団員が2012年8月から「うた」「おどり」「演技」の稽古を重ねました。演じたのは4周年記念朗読劇で上演された「イソゴのアリスと仲間たち」の続編。区民参加劇の新しい展開を見せた公演となりました。



開館9周年事業

区民参加ミュージカル「杉劇☆歌劇団 サボンの奇跡

～日本で初めて石鹸を創った男～

2011年2月19,20日(土,日)

横浜市磯子区民文化センター 杉田劇場 ホール

杉劇☆歌劇団による2年目の活動。1年間続けた稽古をベースに、磯子の偉人「堤磯右衛門」の功績を描いた、過去と未来を巡るファンタジーミュージカルをお届けしました。



開館10周年事業

区民参加イベント「杉劇ジョイフルフェスティバル」

2015年2月1日(日)

横浜市磯子区民文化センター 杉田劇場 ホール

杉田劇場で生まれた区民参加チーム「ミュージカルチーム:杉劇☆歌劇団」「お囃子チーム:杉劇和っしょい」「杉劇リコーダーズ」の3チームによる合同パフォーマンス。杉劇☆歌劇団は磯子のむかしばなし「おどりばたけ」を元にした「平成版おどりばたけ」を披露しました。



区民参加事業から生まれた団体



語り華の会

開館4周年記念におこなった区民参加朗読劇から、朗読団体「語り華の会」が誕生しています。講師だった声優の野村道子先生に朗読を教わりたい!と参加者たちが一念発起して結成。杉田劇場の会議室をホームに練習を重ね、年に約1回の定期公演のほか区内各地でのイベントなどにも出演しています。

吹奏の旅

杉劇リコーダーズから誕生した少人数アンサンブルチーム。杉田劇場の練習室で練習を重ね、自作曲の発表や杉田劇場が主催するロビーパフォーマンスや出張演奏への出演も多いチームです。



様々な文化事業

CULTURAL PROGRAM

杉田劇場では世代を超えて、国や地域を超えて、文化で人をつなぐ事業を展開してきました。ここではその中から「子ども・子育て支援」「交流」「芸術文化発信・アーティスト支援」の事業をご紹介します。

■ 子育て支援

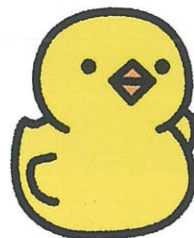
0才からのちいさなコンサート ひよこ♪コンサート

- ・第1期区民企画委員の声からはじめたコンサート。
- ・2006年3月より年に複数回実施。杉田劇場 ホールで。
- ・2014年12月に開催30回目を達成!
- ・杉田劇場が誇る大人気のコンサート。0才から入れる子どもと親のための賑やかなコンサートです。場内は声を出しても歩いても大丈夫。子どもが大好きなアーティストと一緒に歌って踊っちゃおう!

過去30回で出演したアーティスト

しゅうさえこ(うた。元NHKうたのおねえさん)、プラス・エクシード(吹奏楽)、木管五重奏団 Rai-on、栗コーダーカルテット(リコーダーなど)、ロバの音楽座(古楽器)、トイ・マジック・オーケストラ(トイピアノなど)、打楽器集団「男群」、七澤清貴(ヴァイオリン)、ともとも(廃品打楽器)ほか

ひよこ♪コンサート



ロビーパフォーマンス

- ・2005年4月より月に1回実施。杉田劇場 4階ロビーで。
- ・ロビーにあるピアノで遊ぼう! 東芝事業所内保育園のこどもたち、杉田劇場のおとなりさん「新杉田のびのび保育園」の園児、ひよこメール会員の新米ママとこどもたち、みんなで一緒に歌って! 踊って! 走って! 館長が演奏するピアノの音色に合わせて、今日は何しよう?



プレまぱ☆コンサート

- ・2010年5月より5回開催。杉田劇場 ホール、リハーサル室で。
- ・杉田劇場で初めての胎教体験。「お母さんが楽しければお腹の赤ちゃんも楽しい!」をテーマに、静かな音楽と子育てスペシャリストたちによる優しいコンサート。ここから「ひよこ♪コンサート」にも参加して下さったご家族もいらっやいます。



交流

世界とつなぐ 杉劇フレンドシップコンサート

- ・2010年12月より年1回、4回実施。 杉田劇場 ホールで。
- ・世界で活躍する外国人演奏家と地域の学校・文化団体が、一緒に練習をして、一緒にステージで演奏をする国際交流コンサート。

■2010年 内モンゴル

出演：馬頭琴奏者リポー

共演：岡村小学校特別合唱クラブ、杉劇リコーダーズ

■2011年 ドイツ

出演：ベルリン・フィルハーモニー弦楽五重奏団

共演：公募による子どもと大人の合唱団、山根一仁(ヴァイオリン)

■2012年 ロシア

出演：トランペット奏者アレクセイ・トカレフ

共演：浜中学校吹奏楽部、プラス・カスミッシモ

■2013年 アフリカ

出演：打楽器：ムクナ・チャカトゥンバ

共演：杉劇フレンズ(公募によるゴスペル合唱団)

毎年趣向を凝らした内容で、磯子と世界をつなぎました。



東日本大震災被災地支援活動

- ・多大な被害を生んだ東日本大震災による被災地への文化的支援活動。宮城県気仙沼市を支援する磯子の商店街と共に支援活動を実施しました。地域のみなさまのご協力に厚く御礼申し上げます。以下、活動を抜粋して紹介させていただきます。

■2011年5月30日 杉劇リコーダーズ第1回定期演奏会

演奏会終了後にリコーダーズメンバーが義援金を募りました。

■2011年10月12日 ベルリン・フィルハーモニー弦楽五重奏団による支援コンサート
演奏者からの発案で、収益を全額義援金とするコンサートを行いました。この時の義援金561,973円は気仙沼市の復興商店街南町紫市場内のこどものための集会所「cadocco(カドッコ)」の造作資金として寄付されました。

■2012年4月28日 杉劇リコーダーズ第2回定期演奏会

「和」と「輪」をテーマに、被災地の子ども達が生きた作文を朗読。合わせて公演終了後にリコーダーズメンバーが義援金を募りました。

■2012年10月25日 防災・減災講演会 ～絆が命を救い、地域を復興させる
横浜杉田気仙沼応援隊主催による当館ホールでの講演会実施へ協力を行いました。

■2013年8月10,11日 杉劇リコーダーズ 宮城県気仙沼市へ出張交流演奏
「リコーダーの演奏」を通じて気仙沼の子ども達と交流するため杉劇リコーダーズが宮城県気仙沼市へ演奏旅行を行いました。復興商店街南町紫市場内の「cadocco(カドッコ)」で子ども達と一緒に練習をおこない、商店街のお祭りのステージと一緒に演奏を披露しました。

芸術文化発信・アーティスト支援

身近な劇場で良質な音楽を楽しむシリーズ 「音のパレット」

- ・2012年2月より14回開催(特別編含む)杉田劇場 ホールで。
- ・実力、知名度共に合わせ持つ有名アーティストの演奏を楽しんでいたくコンサートシリーズ。豪華なラインナップが人気を呼びました。

出演したアーティスト

横山幸雄(ピアノ)、天満敦子(ヴァイオリン)、チェコ・フィル・ストリング・カルテット、山本裕康(チェロ)、池松宏(コントラバス)、秋満義孝(ジャズピアノ)、ヨゼフ・シュバチェク(ヴァイオリン)ほか



シリーズ「若きヴィルトゥオーゾの響き」

- ・2012年8月より8回開催(特別編含む)杉田劇場 リハーサル室、ホールで。
- ・これから未来へ羽ばたいていく、才能あふれる若き演奏家を紹介するシリーズ。クラシックからポップスまで、多彩なジャンルの演奏家にご出演いただきました。

出演したアーティスト

山根一仁、毛利文香(ヴァイオリン)、オートクチュール・サクソフォン・カルテット、松尾俊介(ギター)、彩(シンガーソングライター)、サファリパーク DUO(ピアノ & トランペット)、プラハ・バロック合奏団 & 毛利文香(特別編)ほか

地域とのつながり

THE RELATION WITH THE AREA

「地域とつながる文化施設」として磯子の文化団体・商店街・警察・消防・区役所など、多方面とゆるやかにつながり、イベントを一緒に生み出してきました。



■ イマージュ ISOGO

杉田劇場の開館記念事業でステージに立ったロックバンド「PLUM'S(プラムス)」。ぷらむろーど杉田商店街の店主達が結成したそのバンドの「音楽で地域を盛り上げたい!」という気持ちに賛同したミュージシャンが集まり生まれたのが「イマージュ ISOGO」です。年に1回、杉田劇場でのロックフェスティバル開催を軸に、区内各所での演奏活動をおこなう大組織となりました。近年は東日本大震災の被災地へ楽器を贈る活動を行うなど、磯子の文化の担い手として圧倒的な存在感を示しています。

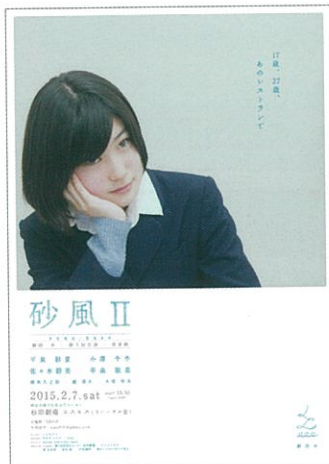


■ 劇団「横綱チュチュ」

磯子の主婦が中心となって結成した劇団。2005年に杉田劇場で第3回公演を実施して以来、年に1回公演を実施しています。その他にも演劇をもっと身近に感じてもらうための小規模公演を区内の学校、ケアプラザ等で行っています。2日間で4回行われる本公演は券売率80%以上!地域に根ざす名物劇団です。

■ 劇団糸

杉劇リコーダーズと地域のカメラマンの出会いがきっかけで生まれた劇団。オリジナルの脚本・音楽で出演は杉劇リコーダーズOBなど杉田劇場で育った子ども達。2015年に第3回公演をおこなう、これから活動に期待がかかる劇団です。



■ 磯子区役所とのつながり

: 磯子音楽祭

磯子区役所と杉田劇場が実施する区内音楽系文化団体のための音楽祭。磯子公会堂を会場に「文化団体間のつながり、文化団体とお客さんのつながり」を生み出す「出演することがステータスとなるような音楽祭」をテーマに、吹奏楽や合唱団、ジャズバンドなど多様な団体が出演し日頃の練習の成果を披露しました。過去2回の公演はどちらも500名以上の来場者を記録。磯子の文化活動における新・定番となりつつあります。



■ 区内文化施設とのつながり

: いそっぴゴールデンウィーク

磯子区内の文化施設の館長が集まる会合「館長連絡会」から生まれた施設をつなぐイベント。ゴールデンウィークに区内施設でおこなわれるイベントを網羅したチラシを手に、各施設をまわってスタンプを集める参加型イベントです。参加する施設数も年々増え、横浜市における新しい取組として注目を浴びるイベントです。

■ 磯子消防署とのつながり: 磯子区消防出初め式へ出演

2011年より杉劇リコーダーズが毎年出演をしています。式典での演奏を中心に、音楽プロデューサーや東日本大震災被災地の子どもが書いた作文の朗読、ある時にはメンバーが救助訓練デモンストレーションの避難者になるなど、様々な共演をおこなっています。



■ 磯子警察署とのつながり

: 振り込め詐欺撲滅大会で演劇制作

杉田劇場のホールでおこなわれた振り込め詐欺撲滅大会で、2回に渡りオリジナル演劇の制作、上演をいたしました。1回目は劇団「横綱チュチュ」メンバーによる脚本で警察官とチュチュのメンバーが出演。2回目は杉劇☆歌劇団による脚本で警察官と歌劇団団員が出演。その模様は新しい協働の形としてメディアにも多数取り上げられました。



■ 商店街とのつながり: 「杉田@にぎわい会」

商店街と杉田劇場のつながりは商店街のイベントへのアーティスト派遣など開館当初より始まっています。そのつながりが2014年に1つの大きなまとまりを見せました。らびすた新杉田、杉田商店街、ビーンズ新杉田、プララ杉田の4つの商店街が「杉田@にぎわい会」として集まり、企業等を巻き込んで「杉田小学校の児童の歌声を商店街で毎週月曜日の朝に流す」というビッグプロジェクトを生み出したのです。子どもたちの歌声で磯子に元気を与える取組みとしてメディアに大きく取り上げられました。



■ つながりを象徴する場所づくり: 杉田劇場まつりシリーズ

いままでご紹介してきた「つながりが一同に会する場所」。それが「杉田劇場のまつり」。全館を開放し、区内の企業・団体・行政・個人のブースがところ狭しと立ち並び、館内は昔ながらのお祭りの雰囲気を感じ出します。劇場を身近な場所として感じていただくオープンデーとして。そして、区内のあらゆる団体・個人が分け隔てなく参加できる場所として、1日だけの開催ながら平均来場者が平均1,000人を超える大イベントです。



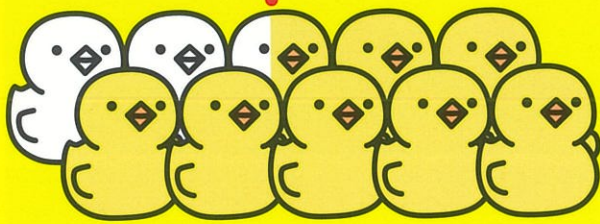
杉田劇場 DATA

SUGIGEKI DATA

■ 横浜市磯子区民文化センター 杉田劇場の利用率

約76%

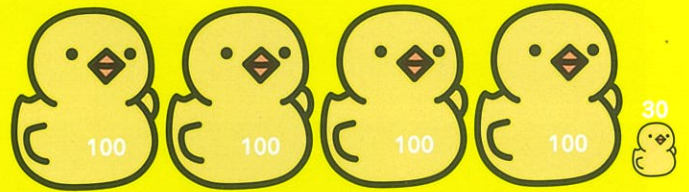
*利用可能な時間コマ単位から算出(ホールのみ日単位)
集計期間: 2005年4月 - 2014年9月



■ 10年の間に実施した自主事業の数

約430事業

*集計期間: 2005年2月5日 - 2015年3月31日
平均して、1年間に約43回の事業を実施してきました。



■ 10年間の延べ施設利用者人数

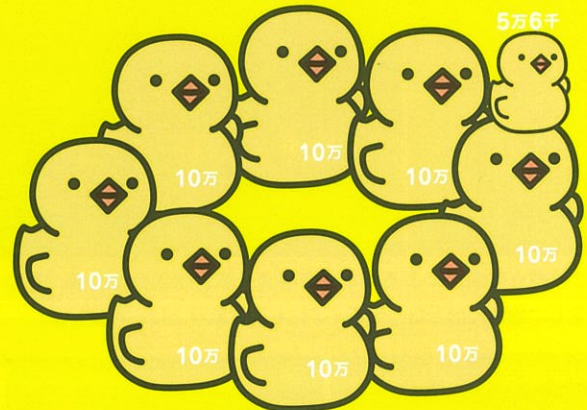
延べ約85万6千人

*集計期間: 2005年4月1日 - 2014年11月30日
ちなみに…磯子区の人口は166,239人(2014年12月31日時点)
磯子区に住む方の約半分の方が来館されたという計算になります。

■ いままでに実施した自主事業に 参加・鑑賞した人数

延べ約11万3千人

*集計期間: 2005年2月5日 - 2013年3月31日



杉劇マーチ

作詞: 中村牧・永田平八 作曲: 永田平八

杉劇で育って

いそごで生きてゆくよ

悲しいことでも

みんな受け止めてくれる

この街が好きだから

この街を創ってゆこう

みんなの力で開こう

明日のいそごを

歌おう ランランラン ララ

さあ 声を合わせて

踊ろう ランランラン ララ

さあ 手をつないで

海は広がり 空は輝くよ

進めどこまでも

碧い地球を追いかけてゆこう

杉田劇場の開館10周年を記念して作られたオリジナルテーマソング。リコーダーの伴奏に乗せて歌う明るく楽しいマーチが完成しました。

杉劇マーチ

2015杉田劇場

作詞：中村牧 永田平八

作曲：永田平八

す ぎ げ き で そ だ っ て い

6
そ ご で い き て ゆ く よ

10
歌 か な し い こ と で も み ん

14
な う け と め て く れ る こ

18
の ま ち が す き だ か ら こ

22
の ま ち を つ く っ て ゆ こ う

26
み ん な の ち か ら で ひ ら

30
こ う あ し た の い そ ご を

34
A
う た お う ラ ン ラ ン ラ ン ラ ラ さ あ こ

38
え を あ わ せ て お ど ろ う ラ ン ラ ン ラ ン ラ ラ さ あ て

42
を つ な い で う み は ひ ろ が り そ ら は

46
か が や く よ す す め ど こ ま で も あ お い

50
ち き ゆ う を お い か け て ゆ こ う

杉田劇場のあゆみ

SUGITA GEKIJYO'S HISTORY

2005年

- 2/4 開館記念式典
- 2/5 横浜市磯子区民文化センター 杉田劇場 オープン
オープニングフェスティバル「オペレッタ・ガラ・コンサート」
- 2/5-13 開館記念写真展「磯子区再発見～写真でつづるいま・むかし」
- 2/26 講座：かぶきをもっと楽しもう！
- 2/27 第1期区民企画委員プロデュース事業開始
- 3/6 区内小中学生による合同演奏会：春風いそっ子コンサート
- 4/1 貸館スタート
- 4/13 ロビーパフォーマンス開始。以降、月1回開催
- 5/20 コンサート：アンサンブル・ウィーン
- 7/30 ギャラリートークショー：旧杉田劇場運営秘話
いそご文化資源発掘隊発足。
定期的に区内各所の文化資源を訪問する
- 8/26 全館オープンデー「杉田劇場夏祭り」以降、年に1回開催
- 11/26 旧杉田劇場跡地に史跡標示板が設置。除幕式を開催。

2006年

- 2/27 講座：文楽をもっと楽しもう！
- 3/8 未就学児向けコンサート「ひよこ♪コンサート」開始
- 3/25 開館1周年記念：区民参加オペラ「ヘンゼルとグレーテル」
- 5/26 いそご文化資源発掘隊：第10回目開催
- 6/11 商店街オヤジバンドによる「プラムスライヴ'06」
- 7/14 第2期区民企画委員発足
- 7/24 区民アイデア提案事業：杉劇リコーダーず 開講
- 12/2 リハーサル室の愛称が「コスモス」に決定。
愛称を発表する式典を開催

2007年

- 1/27-28 開館2周年記念：区民参加演劇
「こちら、第3惑星圏アジア州ニッポン郷 Isogo」
- 2/3 全館オープンデー「杉田劇場冬祭り」
以降、年に1回開催
- 2/24 杉劇リコーダーず：リコーダーズスペシャルコンサート開催
- 4/27 コンサート：天満敦子ヴァイオリン・リサイタル
- 7/22 杉田のロックフェス「イマージュ ISOGO」が初のライブ。
以降、定期的に開催
- 9/1 劇場の運営を支えるボランティア組織：杉劇@ 助っ人隊発足
- 9/24 コンサート：チェコ・フィルハーモニー八重奏団
- 12/13-18 展示：日中友好35周年記念「日中共同書道展」

2008年

- 3/2 リコーダーの祭典：リコーダーフェスティバル in 杉劇。
以降、定期的に開催
- 3/29-30 開館3周年記念：区民参加ミュージカル「いそごの星のものがたり」
- 4/22 ワークショップ：能の動き・呼吸法で自分のカラダを探検
- 6/29 新進芸術家支援事業
：神奈川ギターコンクール & ギターワークショップ
- 8/23 杉田小学校6年3組(当時)による
紙芝居「わたしたちと杉田梅」
- 11/17 いそご文化資源発掘隊：第20回目開催

2009年

- 2/1 杉田劇場冬祭り2009内で岩崎学園とユリフラワー共演による
ファッションショー開催
- 2/21-22 開館4周年記念：区民参加朗読劇
「イソゴのアリスと仲間たち」
- 5/30-31 ダンス：古典芸能シリーズ「現代の芸能」
近藤良平×坂東扇菊「天下」
- 6/13 開港150周年記念：横浜18区紹介デーにて
「イソゴのアリスと仲間たち」再演
- 8/14-9/29 絵画による国際交流
：ペルーといそごの文化交流展「世界のこどもたち展」
- 9/27 磯子まつり：開港150周年記念ステージにて
「イソゴのアリスと仲間たち」再演
- 11/15 新潟県小出郷文化会館との交流事業
「うおぬま産ジャズ講談 & 魚沼産展」
- 12/3 ひよこ♪コンサート：第10回目開催
- 12/14 絵画による国際交流
：世界の子どもたち展 in PERU ～ペルー日本文化会館にて

2010年

- 2/5 開館5周年を迎える
- 2/27-28 開館5周年記念：区民参加音楽劇
「イソゴのハテナ～海と梅とこれから物語り」
- 3/27 企画協力：ファミリーコンサート
～春の星空さんぽ in はまぎんこども宇宙科学館
- 5/30 妊婦向け胎教コンサート「プレまば☆コンサート」
- 9/30 講座：能を楽しんで体験
- 10/24 子育て応援イベント「Hop! Step!! Jump!!!」
磯子区役所子ども家庭支援課と協力
- 12/12 コンサート：プラハ・パロック合奏団
- 12/18-19 国際交流イベント：フレンドシップコンサート
「モンゴル 悠久なる国」

旧 杉田劇場

戦後ももなく、戦災の影響が色濃く残る昭和21年1月1日、戦後横浜発の“演劇の殿堂”として誕生したのが、旧「杉田劇場」です。

専属一座の大高ヨシヲ一座の幕あいつなぎに、8歳の美空ひばりが、歌謡曲と踊りの美空楽団の中で「美空一枝」と名乗り初舞台を踏んでいます。浅香光代や瀧美清、昭和21年創立の老舗アマチュア劇団葡萄座など多数の著名人が舞台を踏みましたが、次第に経営困難に陥り、昭和25年10月、4年間の劇場の歴史に終止符を打ちました。

磯子区民文化センター名称公募において、地域の方々が昔をしのび「杉田劇場」という名前を多数あげ、新しい劇場の名前は「杉田劇場」と決定。

オープンにあたり、歴史を紐解くうちに旧杉田劇場の経営者の甥にあたる片山茂氏により美空ひばりの初舞台のエピソードが明らかになりました。

横浜市(磯子区)は、片山氏より、旧杉田劇場の写真、資料、美空ひばりが舞台上に立った際の「美空一枝」名入りのポスターなど貴重な資料の寄贈を受け、保管するとともに歴史を語り継ぐ活動を行っています。

2011年

- 1/6 磯子区消防出初式に杉劇リコーダーずが初出演
- 2/19-20 開館6周年記念：区民参加人形劇「ドリーマーズ」
- 5/1 杉劇リコーダーず、記念すべき第1回定期演奏会を開催
- 7/23 講座：舞台スタッフによる
音響機材ワークショップ～入門編～
- 8/10 磯子警察署「安全・安心ふれあい展」にて
振り込め詐欺防止の啓発芝居
- 10/12 東日本大震災支援コンサート
：ベルリン・フィルハーモニー弦楽五重奏団
国際交流イベント
：フレンドシップコンサート「ベルリン・フィルがやってくる」
- 11/18 ジャズライブ
：生きたジャズの歴史～サー・チャールズ・トンプソン

2012年

- 1/6 磯子区消防出初式に杉劇リコーダーずが2回目の出演
- 2/3 コンサートシリーズ「音のパレット」開始
- 3/4 リコーダーフェスティバル in 杉劇：第5回目開催
- 3/15 ひよこ♪コンサート：第20回目開催
- 4/28 杉劇リコーダーず：第2回定期演奏会
- 6/26 出張演奏会：茅ヶ崎市民文化会館にて
「ひよこ♪コンサート」を開催
- 8/12 若手演奏家コンサートシリーズ
「若きヴィルトゥオーゾの響き」開始
- 10/25 講演：防災・減災講演会「絆が命を救い、地域を復興させる」
- 10/30 妊婦向け胎教コンサート
：プレまば☆コンサート 第5回目開催
- 12/22 国際交流イベント：フレンドシップコンサート
「磯子とロシアの華麗なる響き」

2013年

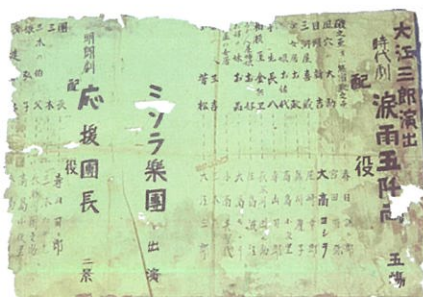
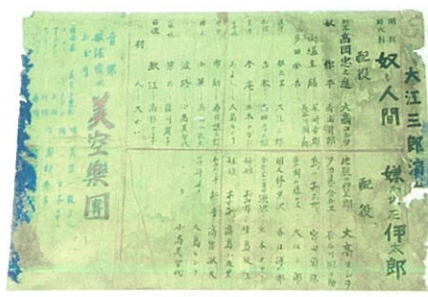
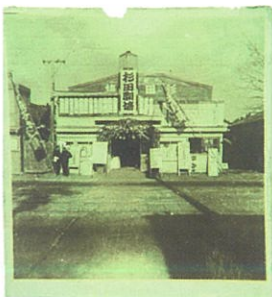
- 2/9 開館8周年記念：区民参加ミュージカル
「杉劇☆歌劇団 結成お披露目会」
- 4/27 杉劇リコーダーず：第3回定期演奏会
- 6/8 出張演奏会：NPO 法人チーム杉劇と協力し秦野市文化会館にて
「ひよこ♪コンサート」を開催
- 7/6 若きヴィルトゥオーゾの響き：第5回目開催
- 10/2-31 展示：横浜生まれの作家「大佛次郎」
- 11/23-24 劇団「横綱チユチュ」第10回公演開催
- 12/14 磯子公会堂にて第1回磯子音楽祭を開催
- 12/22 出張演奏会：NPO 法人チーム杉劇と協力し
港北公会堂にて「ひよこ♪コンサート」を開催

2014年

- 2/8 開館9周年記念：区民参加ミュージカル
「杉劇☆歌劇団 サボンの奇跡」
- 3/28 国際交流イベント：フレンドシップコンサート
「ムクナと一緒に JAMBO」
- 6/25 大衆演劇：劇団若獅子「大菩薩峠」
- 9/19 コンサート：ベルリン・フィルハーモニー弦楽五重奏団 in 杉田劇場
& Kids meet the BerlinPhil!!
- 10/31 音のパレット：第10回目開催
- 11/1 講座：杉田劇場×横浜美術館
「子どものアトリエ 土ねんどで遊ぼう」
- 11/28 磯子警察署「振り込め詐欺撲滅大会」にて
振り込め詐欺防止の啓発芝居
- 12/25 ひよこ♪コンサート：第30回目開催

2015年

- 2/1 開館10周年記念：区民参加パフォーマンス
「杉劇ジョイフルフェスティバル」
- 2/5 開館10周年を迎える。10周年記念式典
- 3/21 杉劇リコーダーず：第4回定期演奏会



旧杉田劇場正面写真(左)、旧杉田劇場ポスター(中・右) 寄贈 片山茂氏

この10年間にご支援、ご協力、ご協賛いただいた
地域・企業・店舗・団体の皆様

(順不同・敬称略)

| | | | |
|----------------------------------|--------------------------|------------------------|---------------------------|
| 朝日オフセット印刷株式会社 | 杉田八幡宮 | いそご地域活動ホームいぶき | 日本女子体育大学 |
| あづま食品株式会社 | 森浅間神社 | さくらんぼライフコート杉田 | フェリス女学院大学 |
| 神奈川トヨタ自動車株式会社 | 横浜神和會 | スペース杉田 | 公立大学法人横浜市立大学 |
| カヤバシステムマシナリー株式会社 | | | 横浜国立大学 |
| 麒麟ビバレッジ株式会社 | 楠田写真機店 | 東日本旅客鉄道株式会社 根岸駅 | 磯子区役所 |
| 麒麟ビールマーケティング株式会社 | 梅の湯 | 東日本旅客鉄道株式会社 磯子駅 | 磯子土木事務所 |
| 株式会社合人社計画研究所 | 菓子一 | 東日本旅客鉄道株式会社 新杉田駅 | 神奈川県警察 磯子警察署 |
| コカ・コーラ イーストジャパン株式会社 | 芝時計店 | 東日本旅客鉄道株式会社 洋光台駅 | 横浜市消防局 磯子消防署 |
| 小松印刷株式会社 | 新杉田ボウル | 京浜急行屏風浦駅 | 神奈川県農業技術センター |
| シナリー株式会社 | 杉田屋商店 | 京浜急行杉田駅 | |
| 全日本空輸株式会社 | 野本園茶舗 | | |
| 東京ガスエコモ株式会社 | (備)文具のあいざわ | 神奈川新聞社 | 杉劇リコーダーズ |
| ダイドードリンコ株式会社 | くれよんはうす精光堂 | 朝日新聞社 横浜総局 | 杉劇☆歌劇団 |
| 株式会社 東芝 | フロリスト花だより | NHK 横浜放送局 | 杉劇和っしょい |
| 日本ソーティアック株式会社 | 株式会社シティーライブ | 毎日新聞社 横浜支局 | 杉劇 @ 助っ人隊 |
| 野中貿易株式会社 | ふかのフォトスタジオ | 読売新聞 横浜支局 | |
| 株式会社阪急交通社 | スズキヤ | 産経新聞社 横浜総局 | アンサンブル たのシッコ |
| 株式会社横浜ベイホテル東急 | ジーバンのトップ | 東京新聞 横浜支局 | イマーージュ ISOGO |
| 横浜ベイシェラトン ホテル & タワーズ | レストラン バレ・ド・バルブ | 日本経済新聞社 横浜支局 | 劇団「横綱チユチュ」 |
| 株式会社横浜ロイヤルパークホテル | ユリフラワーデザインスクール川上教室 | 株式会社テレビ神奈川 | 劇団 糸 |
| 株式会社馬車道ピアノサロン | ケンタッキー・フライド・チキン プララ杉田店 | 株式会社ジェイコムイースト J:COM 横浜 | 語り華の会 |
| 株式会社伊藤園 | ミスタードーナツ京急杉田駅前店 | RF ラジオ日本 | 吹奏の旅 |
| 株式会社ひばりプロダクション | どんや宝 杉田店 | FM ヨコハマ | げんき Do |
| 文明堂製菓株式会社 | (備)セガエンタテインメント クラブセガ新杉田店 | 株式会社タウンニュース社 磯子区編集室 | |
| 三菱地所プロパティマネジメント株式会社 | スターバックス コーヒー らびすた新杉田店 | 株式会社はまかせ新聞社 | 魚沼市小出郷文化会館 |
| ヤマハ株式会社 | Hobby Lobby | 横浜タウン新聞 | 都の杜うぐいすホール |
| 株式会社ヤマハミュージッククリエティング横浜店 | | 磯子マガジン | 静岡音楽館 AOI |
| 株式会社ヤマハミュージッククリエティングピアフォルテ上太岡 | JA 横浜磯子支店 | 社会福祉法人あらぐさ会 | 秦野市文化会館 |
| 公益財団法人ピカド・マドリッド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン | 横浜銀行杉田支店 | 新杉田のびのび保育園 | 茅ヶ崎市民文化会館 |
| 横浜みなとみらい万葉倶楽部 | | 社会福祉法人遊育会 | |
| 株式会社東京堂 | 新杉田都市開発株式会社 | マーマシのはら保育園 | 横浜開港祭ザ プラス クルーズ実行委員会 |
| 株式会社ニックスサービス | ブララ都市開発株式会社 | おひさま保育園 | (有)名取事務所 |
| | 特定非営利活動法人夢・コミュニティ・ネットワーク | 杉田幼稚園 | 株式会社太鼓センター |
| 磯子区町内会連合会 | 特定非営利活動法人こどもリクラブ | 磯子小学校 | 株式会社メロス・アーツ・マネジメント |
| 磯子区商店街連合会 | 特定非営利活動法人チーム杉劇 | 岡村小学校 | 有限会社アーツ・アイランド |
| 磯子事業会 | 杉田梅復活推進委員会 | さわの里小学校 | 株式会社ジャパン・アーツ |
| 磯子ロータリークラブ | 磯子区郷土研究ネットワーク | 山王台小学校 | 株式会社ミュージシャンズ・パーティー |
| 磯子区民生利用施設協会 | 横浜杉田気仙沼応援隊 | 汐見台小学校 | 有限会社パンセ・ミュージック |
| 磯子区館長連絡会 | 港北ちびっこシアター実行委員会 | 杉田小学校 | マシュマロレコード |
| 磯子区 NPO 連絡会 | | 滝頭小学校 | 株式会社アルス東京 |
| | | 根岸小学校 | 株式会社プロ アルテ ムジケ |
| 杉田 @ にぎわい会 | 上中里地区センター | 梅林小学校 | 株式会社東音企画 |
| | 杉田地区センター | 浜小学校 | 株式会社オカムラ & カンパニー |
| 根岸橋通り商和会 | 根岸地区センター | 屏風浦小学校 | オフィス・デュオ |
| 浜マーケット | 磯子センター | 森東小学校 | 特定非営利活動法人横浜シティオペラ |
| 杉田駅前商店会 | 浜小学校コミュニティハウス | 洋光台第一小学校 | 特定非営利活動法人 ST スポット横浜 |
| 杉田商店街 | 浜中学校コミュニティハウス | 洋光台第二小学校 | 株式会社フューチャーデザイン |
| 杉田十日会商店街 | 根岸中学校コミュニティハウス | 洋光台第三小学校 | 横浜演劇鑑賞協会 |
| ブララ杉田専門店会 | 洋光台第三小学校コミュニティハウス | 洋光台第四小学校 | MOA インターナショナルサポートセンター |
| ビーンズ新杉田 | 洋光台第四小学校コミュニティハウス | 岡村中学校 | 株式会社ブランクトン |
| らびすた新杉田テナント会 | 岡村中学校コミュニティハウス | 汐見台中学校 | 株式会社アスベン |
| | 滝頭コミュニティハウス | 根岸中学校 | 株式会社13フィック・コンサート・マネジメント |
| 株式会社 IHI 横浜事業所 | 洋光台駅前公園こどもログハウス | 浜中学校 | 有限会社デュオ・ジャパン |
| JX 日鉱日石エネルギー 根岸製油所 | 横浜市磯子スポーツセンター | 森中学校 | 有限会社ティアー・エム・アソシエイツ |
| 東京電力株式会社 | いそびヨ | 洋光台第一中学校 | 有限会社 酒井好古堂 |
| J-Power 電源開発株式会社 磯子火力発電所 | 磯子図書館 | 洋光台第二中学校 | 学校法人岩崎学園 横浜 F カレッジ 山手ゲート座 |
| 日清オイログループ株式会社 横浜磯子事業場 | 磯子区民活動支援センター | 磯子高等学校 | 公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団 |
| シティー開発株式会社 | 根岸なつかし公演 旧柳下邸 | 氷取沢高等学校 | squash yokohama japan |
| 株式会社安藤建設 | 宮越記念 久良岐能舞台 | 磯子工業高等学校 | ヤナキヒロシ |
| 株式会社エヌケイキャブ | はまぎんこども宇宙科学館 | 横浜学園高等学校 | |
| 日興テクノス株式会社 | 三殿台考古館 | 金沢区内各小学校 | 有限会社アイコニクス |
| | たきがしら会館 | 金沢区内各中学校 | 株式会社東急コミュニティー |
| 大聖院 | 横浜市電保存館 | 磯子区内各保育園・幼稚園 | |
| 東漸寺 | 横浜市社会教育コーナー | 昭和音楽大学 | |
| 宝積寺 | 横浜市新杉田地域ケアプラザ | | その他、たくさんの方の磯子のみなさま |
| | 横浜市屏風浦地域ケアプラザ | | |